

平成24年度関東倶楽部対抗茨城第2ブロック予選競技 組合わせおよびスタート時間表

(参加者 23倶楽部 ・ 138名)

期日：5月22日(火)

場所：ザ・オーシャンゴルフクラブ

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	白鳥 誠	セントラル	田口 操	麻生	平岡 成介	美浦		
2	7:39	菊池 功	静ヒルズ	樋口 薦	セゴビア	矢野 敏夫	サニーフィールド		
3	7:48	宮崎 哲生	アスレチック	松崎 晴雄	江戸崎	浅野 健造	龍ヶ崎		
4	7:57	片岡 包行	ノースショア	入野 康昭	水戸	佐々木 秀樹	ザ・オーシャン	杉山 和正	大利根
5	8:06	富田 文雄	茨城	加藤 清典	常陽	相澤 和良	霞南	永田 浩二	桂ヶ丘
6	8:15	遠田 稔	阿見	近藤 昭二	富士笠間	渡部 儀勝	土浦	井坂 健	那珂
7	8:24	皆川 実	穴戸ヒルズ	小川 敏雄	茨城ロイヤル	村田 三郎	セントラル	加藤 礼吉	美浦
8	8:33	松山 信彦	セゴビア	木川 総一郎	アスレチック	大木 敏夫	龍ヶ崎	平沢 良雄	水戸
9	8:42	斎藤 広巳	大利根	小松崎 尊久	常陽	山岡 豊	桂ヶ丘	福田 正明	富士笠間
10	8:51	小林 保夫	那珂	大竹 房治	茨城ロイヤル	伊藤 雅久	麻生	島田 重一	静ヒルズ
11	9:00	藤原 晴男	サニーフィールド	福島 順信	江戸崎	高橋 康之	ノースショア	萩沼 章吉	ザ・オーシャン
12	9:09	浅井 義久	霞南	相馬 聡夫	茨城	由井 常道	阿見	山口 茂樹	土浦
13	9:18	大辻 孝司	穴戸ヒルズ	伊藤 司	セントラル	花ヶ崎 一男	静ヒルズ	井草 義彦	アスレチック
14	9:27	石丸 和広	ノースショア	山口 雅司	大利根	小倉 静	霞南	半沢 秀幸	富士笠間
15	9:36	遠藤 みつぎ	麻生	長井 隆道	穴戸ヒルズ	深澤 潔	セゴビア	井上 一男	江戸崎
16	9:45	中村 清	水戸	清水 重夫	茨城	本田 善一	桂ヶ丘	伊藤 保	土浦
17	9:54	飛田 芳徳	茨城ロイヤル	清水 弦	美浦	五位淵 昭	サニーフィールド	矢田 弘	龍ヶ崎
18	10:03	反町 靖秋	ザ・オーシャン	仙波 奉日呂	常陽	樋口 哲夫	阿見	吉波 孝幸	那珂

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
19	7:30	田中 耕介	セントラル	星野 友成	セゴビア	梯 輝大	龍ヶ崎		
20	7:39	竹村 亥一郎	大利根	吉村 明朗	桂ヶ丘	片岡 正徳	那珂		
21	7:48	児玉 浩明	麻生	八木沼 仁	サニーフィールド	平山 芳照	ノースショア		
22	7:57	澤田 信弘	茨城	大森 宏文	阿見	木村 和紀	穴戸ヒルズ	水谷 利之	美浦
23	8:06	磯岡 真吾	静ヒルズ	河内 喜文	水戸	秋元 忠勝	常陽	舘 英樹	富士笠間
24	8:15	市川 義勝	茨城ロイヤル	早水 保貴	アスレチック	川崎 邦朗	江戸崎	佐藤 陽一	ザ・オーシャン
25	8:24	富澤 隆生	霞南	服部 大輔	土浦	木内 忍	セントラル	平塚 篤	サニーフィールド
26	8:33	木名瀬 和重	水戸	宇野 政	霞南	竹島 輝夫	那珂	吉川 博美	麻生
27	8:42	桜口 知也	アスレチック	猪瀬 英希	ザ・オーシャン	高橋 利則	桂ヶ丘	春田 賢三	穴戸ヒルズ
28	8:51	芝田 進弘	美浦	飯野 伸一	江戸崎	井上 貴一朗	大利根	岡田 成寛	阿見
29	9:00	柳田 秀樹	茨城ロイヤル	迫間 幸介	静ヒルズ	菅原 徹	龍ヶ崎	千野 英樹	茨城
30	9:09	中野 正義	富士笠間	村上 拓也	セゴビア	永田 昭二	ノースショア	田岡 真一郎	常陽
31	9:18	今井 亘	土浦	小澤 順一	セントラル	河田 泰弘	アスレチック	中田 辰悟	大利根
32	9:27	吹野 耕一	富士笠間	植田 浩義	麻生	蛭原 英光	江戸崎	高橋 勲	茨城
33	9:36	永野 真美	土浦	松原 俊郎	美浦	中山 和昭	龍ヶ崎	陶 章司	常陽
34	9:45	石川 修	那珂	吉田 進	静ヒルズ	平塚 雅敏	ノースショア	矢野 潔	霞南
35	9:54	寺澤 正博	穴戸ヒルズ	稲村 隆浩	セゴビア	小林 征美	水戸	島澤 勝浩	茨城ロイヤル
36	10:03	五頭 利明	桂ヶ丘	椎野 俊朗	サニーフィールド	齊藤 克行	ザ・オーシャン	小松沢 敏	阿見

競技委員長 酒巻 一生

平成 24 年度 関東倶楽部対抗茨城第 2 ブロック予選競技

開催日 : 5 月 22 日(火)

開催コース : ザ・オーシャンゴルフクラブ

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこの競技の条件・ローカルルールを適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定や選手への通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、本競技の条件とローカルルールの違反の罰は、2 打とする。

競技の条件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

2. 使用球の規格(ゴルフ規則 175 ページ参照)

『公認球リストの条件・規則付 I (c)1b』

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付 I (c)1a』(ゴルフ規則 174 ページ参照)

4. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、競技者が金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

5. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

6. ホールとホールの間での練習禁止(規則 7-2 注 2)

『規則付 I(c)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)

7. プレーの中断と再開

- (1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。
- (2) 陰悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいるときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格(規則 6-8b 注)
- (3) プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。
陰悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。
プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『規則付 I(c)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。ただし、次のものを含むスルーザグリーンの芝草を短く刈ってある区域(規則 25-2 参照)にある距離計測のための黄色いペイント。ただし、そのペイントがプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則 25-1 に基づく障害とはみなされない。球がそのペイントの上にあるか、触れている場合、またはそのペイントが意図するスイング区域の障害となる場合のみ、規則 25-1 に基づいて救済を受けることができる。
3. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
 - a. 排水溝
 - b. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - c. コース内の黄色の杭(本競技には適用しない)
 - d. コース内の若木保護のためのロープと杭
5. 電磁誘導カート用の舗装道路および 2 本のレール
舗装道路および 2 本のレールの全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、競技者は規則 24-2b(i)の救済を受けなければならない。
6. コースと不可分の部分
 - a. 樹木に巻きつけたり、密着させてあるもの
 - b. ハザード内にある人工の壁、パイリング(杭)
7. ホールとホール間の白杭
5 番と 6 番ホール、および 7 番ホールの間の白杭を結ぶ線を越えて、現にプレーしているホール以外のコース上に止まった球は、アウトオブバウンズの球とする。
8. 12 番ホールにおいて、球がグリーン奥のラテラルウォーターハザードの中にあるか、その中で紛失したことがほぼ確実な場合、競技者は次のいずれかの処置をとることができる。
 - a. 規則 26-1 に基づく処置
 - b. 1 打の罰を加え指定ドロップ区域(DZ)に球をドロップ
9. 予備グリーン
13 番ホールのクローズド(Closed)の標示のある予備グリーンはプレー禁止の修理地(スルーザグリーン)とし、その上に球があったりスタンスがかかる場合、競技者は、ゴルフ規則 25-1b(i)の救済を受けなければならない。

注 意 事 項

1. 競技の条件 4 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
3. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 120 球を限度とする。

競技委員長 酒巻 一生